

# センターだより「きずな」 ぎふの 埋蔵文化財

財団法人 岐阜県教育文化財団  
文化財保護センター

No.  
37  
2003.7.1

三田洞  
事務所

〒502-0003 岐阜県岐阜市三田洞東1-26-1  
TEL. 058-237-8550(代) FAX. 058-237-8551  
e-mail : gifu@maibun.gifu-net.jp

飛 驒  
出張所

〒509-4122 岐阜県吉城郡国府町名張字峠1425-1  
TEL. 0577-72-4784(代) FAX. 0577-72-4690  
e-mail : hida@maibun.gifu-net.jp



## 発掘調査最前線

### Contents

表紙	巻頭グラビア.....1
センターレポート①	平成15年度調査事業計画.....2.3
センターレポート②	きずな 2003 発掘最前線 「発掘はこうして行われる!」.....4.5

情報BOX	タイムスリップ探検隊・発掘報告会...6
センターレポート③	平成15年度組織 センター日誌・あとがき.....7
センターピックアップ①	博物館展示紹介
センターPR	ホームページ紹介.....8

# 平成15年度調査事業計画



**凡例**

**事業マーク**  
 発掘 (Red arrow icon)  
 整理 (Blue arrow icon)

**時代マーク**

縄文 縄文時代 弥生 弥生時代  
 古墳 古墳時代 古代 古 代  
 中世 中 世 近世 近 世

**A 塚奥山遺跡 (藤橋村)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

縄文時代早期から晩期にかけての集落跡が見つかりました。徳山地区では拠点集落の1つです。竪穴住居跡や炉跡といった住まいの痕跡や、配石遺構などの祭祀に関わる痕跡がそれぞれ数十基にのぼり、当時の暮らしがうかがえる貴重な資料といえます。

事業者:水資源開発公団徳山ダム建設所  
 事業名:徳山ダム建設

**B 檀原村平遺跡 (藤橋村)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

昨年度は、中世の掘立柱建物跡が見つかりました。柱穴からは珍しい白磁の盃が出土しました。また、縄文時代後期の土器や石器がたくさん出土しました。今年度の調査では、縄文時代前期から中期にかけての遺物や遺構が姿をあらわしてくれと期待しています。

事業者:水資源開発公団徳山ダム建設所  
 事業名:徳山ダム建設

**C 檀原神向遺跡 (藤橋村)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

檀原村平遺跡の対岸にあります。試掘調査では、縄文時代早期の土器と焼けた石が集まっているもの(焼礫集積遺構)が確認されています。また、製作途中の石器もいくつか見つかりました。人が生活していた可能性が高く、住居跡が見つかるかもしれません。

事業者:水資源開発公団徳山ダム建設所  
 事業名:徳山ダム建設

**D いじま遺跡 (藤橋村)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

旧檀原地区扇谷沿いの尾根上の狭い遺跡です。試掘調査では、縄文土器や石鏃、磨石、石皿、敲石、石鏝、打製石斧、フレーク、石棒などの石器が見つかりました。また、竪穴住居跡をはじめ、土坑・ピットも見つかりました。今後の調査で、ここに暮らした縄文人の生活が見えてくるのが楽しみです。

事業者:水資源開発公団徳山ダム建設所  
 事業名:徳山ダム建設

**E 七反田番場山古墳群 (岐阜市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

番場山の東南に位置する南向きの斜面上に造られた群集墳です。調査区内に3基存在し、その形態は横穴式石室をもつ円墳と考えています。中央の古墳については石室が開口し、天井石が露出しています。また、側壁が河原石で造られている様子がうかがえます。

事業者:岐阜県基盤整備部岐阜建設事務所  
 事業名:主要地方道岐阜美濃線番場山トンネル工事

**F 大杉遺跡 (関市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

この遺跡は、関市大杉に広がる河岸段丘上にあります。周辺には弥生-古墳時代の集落跡があります。事前の調査において、竪穴住居跡などの遺構と弥生土器、縄文土器などの遺物が見つかりました。今回の調査では、弥生時代の集落跡の一部を確認できると考えています。

事業者:岐阜県基盤整備部美濃建設事務所  
 事業名:一般国道248号関バイパス道路改良

**G 重竹遺跡・上西田遺跡 (関市) (美濃市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

縄文時代から近世までの集落跡や水田跡などの複合遺跡です。とくに、古代から近世にかけては屋敷跡や鍛冶遺構、道路跡など、交通や産業の要衝であったと思われる跡がたくさん見つかりました。

事業者:国土交通省岐阜国道事務所・日本道路公団岐阜工事事務所  
 事業名:東海環状自動車道(関-美濃加茂)建設・美濃関JCT工事

**H 一本杉遺跡・茶屋下遺跡・改田遺跡 (美濃市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

道路の拡幅工事に伴う発掘調査で、細長く発掘しました。近世前半の水田跡や建物跡などが見つかりました。遺物は、この時期のものの中世の山茶碗や陶器類が出土しており、近世以前の遺構が付近に広がっているものと考えられます。

事業者:岐阜県基盤整備部美濃建設事務所  
 事業名:県道岐阜美濃線道路改良

**I 栗坪遺跡 (美濃市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

山の尾根先にあるこんもりとした高まりの頂上部から、ひと抱えほどの大きな河原石がまとまって出土しました。遺物は中世の山茶碗や近世の陶器類が出土しています。中世から近世にかけての祭祀遺構の可能性が高いと考えています。

事業者:岐阜県基盤整備部美濃建設事務所  
 事業名:県道御手洗立花線道路建設

**J 野笹遺跡 (美濃加茂市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

当センターが平成8-9、11-12年度に発掘調査を行った隣り合わせの場所を調査しました。過去2回の調査成果から、野笹遺跡は縄文から中世までの集落跡を含む複合遺跡があったことがわかりました。今回の調査では中世の溝跡と溝に伴う堰跡が見つかりました。

事業者:岐阜県基盤整備部美濃建設事務所  
 事業名:一般国道248号太田バイパス道路改良

**K 東野遺跡 (坂祝町)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

坂祝町黒岩東野地内の河岸段丘上に広がる集落跡です。調査する場所からは、縄文土器や土師器、須恵器、山茶碗が見つかりました。そのため、縄文時代-鎌倉時代にかけての遺跡だと考えられます。

事業者:岐阜県基盤整備部美濃建設事務所  
 事業名:一般国道248号太田バイパス道路改良

**L 深渡A地点遺跡 (美濃加茂市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

中世の屋敷跡に伴うと見られる溝跡や柵列などが見つかりました。溝は、片側が垂直で反対側を斜めに掘る片栗研堀です。この溝跡から古代-中世までの様々な時代の土器が出土しました。

事業者:岐阜県基盤整備部中濃地域可茂農山村整備事務所  
 事業名:県営一般農道整備事業(牧野地区)

**飛騨出張所**

文化財保護センター 三田洞事務所

今年も岐阜県の各地で、発掘調査が行われています。三田洞事務所や飛騨出張所では、整理作業が行われています。昔の人たちの生活をのぞいてみよう。

**M 浦畑遺跡 (御高町)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

今年度で3年目の調査になります。昨年度の調査では、室町時代の掘立柱建物跡や井戸跡を確認し、「長谷川氏」という墨書が入った瓶掛などが見つかりました。今年度の調査では、東側の調査区から中世の集落跡、西側の調査区から中世の土器が確認できる可能性があります。

事業者:国土交通省多治見砂防国道事務所  
 事業名:一般国道21号可児御高バイパス建設

**N 柿田遺跡 (可児市・御高町)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

縄文時代から近世までの集落跡や水田跡などの複合遺跡です。とくに、古墳時代から中世にかけて、水路を制御した灌漑施設とともに集落跡の移り変わりをたどることができ、連続と続く人々の生活の様子や景観の復原ができそうです。

事業者:国土交通省多治見砂防国道事務所  
 事業名:東海環状自動車道(八百津-笠原)建設

**O 土岐口西山古窯跡群 (土岐市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

鎌倉時代の古窯跡が2基並んで見つかりました。古窯の東方にある尾根上では、これらの窯に関連して使用していたと思われる作業場も確認しています。遺物の多くは山茶碗ですが、洗・四耳壺・水注・入子・片口も出土し、多様な器種が焼かれていたことがわかりました。

事業者:国土交通省多治見砂防国道事務所  
 事業名:東海環状自動車道(八百津-笠原)建設

**P 大平遺跡 (串原村)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

縄文時代早期-晩期の土器などが出土しています。1988年には隣接する地区で発掘調査が行われました。そのときは、石囲い炉などが見つかり、多くの土器や石器が出土しました。今回の調査でも、この地域における縄文時代の生活の様子を明らかにできると考えています。

事業者:岐阜県基盤整備部恵那建設事務所  
 事業名:県道下明智線道路改良

**Q 上岩野遺跡 (清見村)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

出土遺物総数20万点を越える縄文時代(中期-後期)の遺跡です。76軒の竪穴住居跡、掘立柱建物跡等が見つかりました。整理作業も2年目となりました。昨年度は、土器の接合・復元・実測の作業を中心に行いました。多くの土器が立体的に復元できました。

事業者:国土交通省高山国道事務所  
 事業名:中部縦貫自動車道建設

**R 野内遺跡 (高山市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

縄文時代中期-中近世の集落跡と考えられています。調査は始まったばかりですが、土師器(赤褐色の素焼き土器)、須恵器(青灰色のかたい焼き物)、灰釉陶器(うわくすりをかけた灰色のかたい焼き物)などが出土しています。

事業者:国土交通省高山国道事務所  
 事業名:高山国府バイパス建設

**S ウバガ平遺跡 (高山市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

平成13年度に調査を実施した遺跡です。縄文時代から平安時代にかけての集落跡です。古墳時代の4軒の住居跡などが見つかりました。多数の土師器をはじめ、縄文土器、須恵器、灰釉陶器、管玉、磁石、刀子、紡錘車などが出土しました。

事業者:国土交通省高山国道事務所  
 事業名:中部縦貫自動車道建設

**T 大江遺跡 (古川町)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

平成10-12年度に実施した調査では、古墳-平安時代の竪穴住居跡が26軒見つかりました。隣接する寿楽寺廃寺跡では寺院の基壇(土台)跡を確認しました。今回の調査でも須恵器や土師器などが多く出土しており、竪穴住居跡などが多数見つかるのではないかと予想されます。

事業者:岐阜県基盤整備部古川建設事務所  
 事業名:主要地方道神岡河合線道路改良

**U 中野大洞平遺跡・大洞平4号古墳 (古川町)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

中野大洞平遺跡は、北向きに山裾に広がる縄文時代-古代の集落跡です。調査は始まったばかりですが、3軒の竪穴住居跡が見つかりました。大洞平4号古墳は、周溝部分の調査となります。

事業者:岐阜県基盤整備部飛騨地域農山村整備事務所  
 事業名:県営農道整備事業(古川南部2期)



**日本の時代区分表**

BC(紀元前) | AD(紀元後)

旧石器時代 | 縄文時代 | 弥生時代 | 古墳時代 | 古代 | 中世 | 近世 | 近・現代

注)日本の旧石器時代の始まりについては、現在、再検討されています。よって、本紙では、新たな見解が発表されるまで、年代の記載を中止いたします。また、縄文時代の始まりについては、ほかに約13000年前など、いくつかの説があります。弥生時代の始まりについても、最近新しい説が発表されましたが、本表では、従来の説に従っています。

約12000年前(100年を5mmで表現すると、縄文時代は約50cmになります) | 約2300年前 | 約1700年前 / 710/794 | 1192 1333 1573 1603 1868 | 飛鳥時代 奈良時代 | 安土・桃山時代 | 大正

# 発掘はこうして行われる!

2、3 ページに紹介したように、今年度は 11 遺跡の発掘調査を行っています。発掘調査を行うことによって、地下に埋もれている遺跡を記録していきます。そのため、昔の人々の生活ぶりを残している事柄を詳細に記録しながら掘る必要があります。今年の発掘現場の調査の様子をもとに、どのように発掘調査が行われるか、その様子を紹介します。



**表土掘削**

大平遺跡  
古屋調査員

地面の下に埋まっている遺跡を明らかにするために、最初に表土 耕作土などを はがさなくてはなりません。そのため、バックホーなどの大きな機械で掘り下げます。

**包含層掘削**

いじま遺跡  
近藤調査員

つづいて、遺物 昔の人が使用した土器や石器などが入っている地層を下げていきます。そのときは、遺物を傷つけないよう、またもれなく取り上げるよう移植ゴテやねじり鎌を進めていきます。

**遺構検出**

東野遺跡  
春日井調査員 河合調査員

土を少しずつ平らに削り、昔の人が生活していた面まで掘り下げます。そうすると、遺構 竪穴住居跡や溝など暮らしの跡) がでてきます。

**遺構掘削**

植原神向遺跡  
石井調査員

でてきた遺構を移植ゴテ・竹ベラ・ハケなどを使って丁寧に掘っていきます。土の堆積の様子を観察し、記録をとることが大切になります。

**写真撮影**

太江遺跡  
小淵調査員 森下調査員

遺構や出土した遺物の様子などを写真撮影し、記録します。遺構では、検出した状況や埋まっている土の様子、掘りきった後の状況など何枚も撮影します。

**遺物取り上げ**

植原村平遺跡

どのような遺物がどこからどのように出土したかという情報が、昔の人々の生活の様子を調べるために、重要になります。そのため、出土位置などの情報を記録して遺物を取り上げます。

**実測**

大杉遺跡  
總山調査員

遺物の出土の様子や遺構の位置などを物差しなどで測りながら、図面 方眼用紙などに1/10、1/20の大きさに記録していきます。

**空撮** (平成13年度調査)

上岩野遺跡

調査の最終段階において、全体の地形や遺構などのようす・位置を測量します。この時、ヘリコプターやラジコンヘリなどを使って写真を撮って測量します。



**土器辞典 Part 2**

**ドキ土器**

いろいろ

土器は、社会の変化や大陸からの文化の影響によって製作方法や機能、形を変えながら今まで延々と作られ続けています。岐阜県は古くから全国的にも有数の土器の生産地でした。今回は弥生時代から中世までの土器の変遷を簡単に紹介します。

**弥生土器**

荒尾南遺跡出土 弥生土器 パレストイル壺

弥生時代、農耕社会の始まりによって、食生活の変化に対応した形の土器(貯蔵用の壺、煮炊き用の甕、盛付け用の高坏や鉢)が出てきます。ベンガラで赤く塗られた土器も見られます。

**土師器**

柿田遺跡出土 土師器 壺

古墳時代以後にみられる素焼きの土器です。古墳時代の初めの頃は古墳の葬送儀礼に使用された小さな壺や器台などがありますが、やがて装飾は見られなくなり、日常容器としての機能が優先されます。

**須恵器**

柿田遺跡出土 須恵器 壺

古墳時代後半に大陸から技術がもたらされた土器です。斜面にシネル状に掘り抜いた罫窯で高温で焼かれるため固くなります。美濃須恵古窯跡群がある各務原市は奈良時代に我が国を代表する生産地でした。

**灰釉陶器**

深橋前遺跡出土 灰釉陶器 壺

古代に出現した土器で、植物灰を主成分とした灰釉を人工的にかけて焼かれました。金属器や中国の陶磁器を真似てさまざまな器種が作られました。愛知県の大塚窯が中心で東海地方にひろく見られます。

**中世陶器**

飛瀬遺跡出土 古瀬戸 有耳壺

鎌倉から室町時代を中心に全国各地で中世陶器が焼かれました。大半が釉薬をかけない陶器でしたが、瀬戸や美濃(東濃)では釉薬をかけた「古瀬戸」が作られました。茶の湯や中国陶磁の流行がさまざまな飲食器を生み出しました。



# 今年も教育普及事業いろいろ

## 教育普及のあらし

センターでは、これまでに数多くの発掘調査を行い、80冊におよぶ調査報告書を刊行してきました。この間、さまざまな形で発掘の成果を多くの方に見ていただきました。出土した遺物や遺構からは、私たちの祖先の暮らしぶりから当時の自然環境にいたるまで、じつに多くのことを示してくれます。これらの貴重な文化遺産をより多くの方に触れていただくことが、岐阜県の歴史を未来に正しく伝えていくことであると思います。

今年度も、多くの発掘調査や整理作業を行っています。調査の様子や成果は、ホームページやこの「きずな」を通じて皆さんにお知らせします。夏休みの親子発掘体験「タイムスリップ探検隊」、秋に開催される「発掘速報展」や「現地説明会」にぜひ参加してください。また、発掘体験や整理作業見学なども随時受け付けています。お気軽にお問い合わせください。

## INFORMATION1

### 親子で発掘体験 タイムスリップ探検隊募集

【対象】県内小学校5・6年生とその保護者  
定員：計100名(各コース50名前後)  
【参加費】無料

#### 飛騨コース

【日時】平成15年7月23日(水)  
【場所】太江遺跡(古川町)雨天順延(7月25日まで)  
午前9時～午後4時  
【申込先】〒509-4122 吉城郡国府町名張字峠1425-1  
(財)岐阜県教育文化財団文化財保護センター飛騨出張所  
TEL 0577-72-4784 FAX 0577-72-4690

#### 美濃コース

【日時】平成15年7月30日(水)  
【場所】東野遺跡(坂祝町)雨天順延(8月1日まで)  
午前9時～午後4時  
【申込先】〒502-0003 岐阜市三田洞東1-26-1  
(財)岐阜県教育文化財団文化財保護センター  
TEL 058-237-8553 FAX 058-237-8551



昨年度の様子

【申込期間】  
住所・氏名(応募者全員)・学年・性別・学校名・電話番号・参加希望コースを明記し、7月11日(金)までにはかき、FAXまたはメールにてお申し込みください。  
各コース別の申込先にお送りください。

## INFORMATION2

### 岐阜県新発見考古速報2003 平成15年度岐阜県発掘調査報告会



昨年度の様子

日時 平成15年7月12日(土)午後1時～午後5時  
場所 羽島市文化センター4階会議室  
参加費 無料  
報告 「鷺山遺跡群(岐阜市)」  
(財)岐阜市教育文化振興事業団埋蔵文化財調査事務所 朝田 公年 氏  
「野内遺跡(高山市)」  
(財)岐阜県教育文化財団 文化財保護センター 小淵 忠司  
「弥勒寺西遺跡」  
関市教育委員会文化課 田中 弘志 氏  
講演 「発掘調査から見た岐阜県の古代(仮題)」  
独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所飛鳥藤原宮跡発掘調査部  
考古第二室長 松村 恵司 氏

## センターの組織改編

平成13年4月に発足しました財団法人岐阜県文化財保護センターが、この4月から財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センターに名称変更しました。

埋蔵文化財だけでなく、幅広い県民文化・地域文化の振興と生涯学習の推進を目的とした法人として業務を拡充し、「文化財保護センター」はその一事業所となりました。国・公団・公社・県の開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を実施し、その保護・活用に努めるという仕事は従来と変わりはありません。

### 平成15年度の組織(平成15年6月10日現在)

#### 財団役員

- 会長 梶原拓(岐阜県知事)
- 副会長 坂田俊一(岐阜県副知事)
- 顧問 木村建(前岐阜県議会文化振興議員連盟会長)
- 理事長 日比治男
- 副理事長 高橋宏之
- 副理事長 平光明彦
- 常務理事 福田安昭
- 理事 木村建(前岐阜県議会文化振興議員連盟会長)
- 理事 坂本由之(中濃地域音楽療法普及協議会長)
- 理事 篠田薫(小島信夫文学賞の会理事)
- 理事 篠田英男(大垣女子短大デザイン美術科教授)
- 理事 杉山博文(岐阜女子大学理事長)
- 理事 鈴木誠(岐阜経済大学福祉コミュニティ学科教授)
- 理事 高橋新蔵(岐阜県教育長)
- 理事 竹内ゆみ子(NPO法人ソムニート理事)
- 理事 玉井博祐(能楽師)
- 理事 所鳳弘(美濃草木染主宰)
- 理事 西村貢(岐阜大学地域科学部教授)
- 理事 八賀晋(岐阜県文化財保護審議会委員)
- 理事 松川禮子(岐阜大学教育学部教授)
- 理事 山内幸裕(山岡町長)
- 理事 吉田豊(岐阜県芸術文化会連合会長)
- 監事 榎瀬文晴(岐阜県参与)
- 監事 近藤良一(岐阜県副出納長)

#### 文化財保護センター職員

- 常務理事兼所長 福田安昭
- 経営部
  - 経営課
    - 課長 川瀬崇敏
    - 課長補佐 新田雄一
    - 主査 中島ゆかり
    - 主任 坂田肇
    - 事務専門職 山下真奈美
    - 事務補助員 鈴木裕子
- 調査部
  - 調査第1課
    - 部長 武藤貞昭
    - 課長 大熊厚志
    - 課長補佐 近藤聡・石井照久・林芳樹
    - 学芸主事 古屋寿彦
  - 調査第2課
    - 課長 藤岡比呂志
    - 課長補佐 鶴飼高男・總山俊行・春日井恒
    - 学芸主事 河合洋尚・三浦徹大
- 整理課
  - 課長 高木徳彦
  - 課長補佐 伊藤利巳・山内裕行・平田篤志
  - 学芸主事 三輪晃三・近藤大典・小野木学
- 飛騨出張所
  - 事務補助員 若園みどり
  - 所長 上原真昭
  - 課長補佐 森下茂司・竹本哲行・大宮次郎
  - 学芸主事 小淵忠司・澤村雄一郎
  - 事務専門職 田口絵里奈

## センター日誌だより……\*

### 2月

- 7 敦賀短期大学助教授 網谷克彦氏 尾元遺跡指導
- 24 奈良大学教授 泉拓良氏 尾元遺跡・塚奥山遺跡指導(～25)

### 3月

- 6 鹿児島県立埋蔵文化財センター 東和幸氏 他2名 飛騨出張所来所
- 11 職員等健康づくり講習会
- 14 理事会
- 20 整理所作業終了
- 31 職員転退者11名

### 4月

- 1 職員転入者8名
- 14 整理所作業開始

### 5月

- 9 国府町立国府小学校1年生遠足 飛騨出張所立ち寄り(遺物見学)
- 20 埋蔵文化財講話に講師派遣(徳山ダム建設所)
- 27 石川県埋蔵文化財センター 中屋克彦氏来所(文化庁考古速報展 遺物貸出)

### 6月

- 10 理事会
- 13 美濃市小学校社会科研究会 三田洞事務所にて研修
- 17 滋賀県文化財保護協会 堀出亀與嗣理事長 他2名来所

## あ と が き ……\*

丸石古窯跡群(土岐市)の調査で出土した鎌倉時代初頭(約800年前)の人物像頭部が、「発掘された日本列島2003 新発見考古速報展」(文化庁主催)において展示されています。9月～10月には浜松市博物館にやってきます。「古代の表情」と題されたテーマ展示の中で、様々な時代のユニークな顔たちといっしょにご覧ください。

組織改編で名称も変わりました当センターですが、今年度は、県内11カ所の遺跡で事業者並びに地元の皆様の御協力を得て発掘調査を実施しています。発掘見学や「出前授業」など体験学習のお問い合わせも増えてきて、うれしい悲鳴をあげていますが、今年度もこの「きずな」をとおして、発掘調査現場の様子や整理作業の成果をはじめ、ホットな話題を皆様にお届けできればと考えています。

Center  
topics県博物館  
常設展示

4月から9月まで岐阜県博物館で、弥生時代から古墳時代にかけての高<sup>たか</sup>坏<sup>つき</sup>を展示しています。センターが発掘調査を行った美濃地方の7遺跡<sup>つぼ</sup>から11点を紹介しました。貯蔵用の「壺」、煮炊き用の「甕<sup>かめ</sup>」とともに食べ物を盛りつけるための器として「高<sup>たか</sup>坏<sup>つき</sup>」は、弥生時代に出現しました。その後、古墳時代から古代にかけて、土師器や須恵器のなかにも作り続けられます。用途も儀式祭礼用<sup>たか</sup>から日常の器へと変化が見られます。また、須恵器の高坏は古

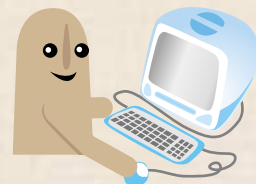
関市小屋名の岐阜県博物館では、当センターで保管している出土品を展示しはじめて3年目となります。9月まで県内各地で出土した弥生時代から古墳時代にかけて使われていた高<sup>たか</sup>坏<sup>つき</sup>を展示しています。

墳の副葬品としても使われました。用途とともに器の形や大きさも少しずつ変化しており、そこには地域性も見られます。今回の展示では、その変遷がわかるように展示してあります。少しずつ変化していく形や大きさは、盛りつけるものの違いやその時代の流行などにも影響されているのでしょうか。ぜひご覧いただいて、いろいろ想像してみてください。

Center  
PR

センターのホームページが

リニューアル



当センターのホームページを3月中旬にリニューアルしました。トップページのデザインが新しくなり、センター広報誌「きずな」(平成14年度の34号以降)のダウンロードページを新たに開設しました。さらに、遺跡紹介、遺物紹介のページも充実しました。

これからもホームページでは、「発掘速報展」本年度発掘調査を行っている遺跡の「現地説明会」、小学5・6年とその保護者対象の「タイムスリップ探検隊(親子発掘体験)」など、センターのイベント情報をタイムリーに発信していきます。ぜひ、ご覧ください。

また、みなさんからのご意見・ご感想などもお待ちしております。

<http://www.maibun.gifu-net.jp>
e-mail: 文化財保護センター [gifu@maibun.gifu-net.jp](mailto:gifu@maibun.gifu-net.jp)  
三田洞事務所: 飛騨出張所 [hida@maibun.gifu-net.jp](mailto:hida@maibun.gifu-net.jp)